

血液一般検査について No. 5

ひかりが丘薬局

H21.8月号

☆今月は肝臓です☆

～肝臓の異常に反応する酵素～

—AST (GOT)—

肝臓、心筋、骨格筋、腎臓などの細胞に多く存在する酵素で、からだに必要なアミノ酸をつくる働きをしています。これらの臓器の細胞に異常がおこると数値に異常が現われます。

—ALT (GPT)—

ALT (GPT) も AST (GOT) と同様の酵素です。とくに、肝細胞の変性や壊死に反応します。

<正常値とその変動>

正常値	AST	5～35 KU/mℓ	境界値	50 KU/mℓ	あたり
	ALT	5～25 KU/mℓ		30 KU/mℓ	あたり

- ① 飲酒
- ② 激しい運動の後
- ③ 肥満
- ④ ステロイド剤の服用
- ⑤ ストレス



<異常値を示すおもな病気>

急性肝炎、慢性肝炎、アルコール性肝炎、脂肪肝、肝硬変、肝ガン、劇症肝炎、心筋梗塞

- ・ 軽度の上昇 (100 KU 以下) …肝硬変、肝ガン、慢性肝炎
- ・ 中等度の上昇 (100～500 KU) …心筋梗塞、胆石症、閉塞性黄疸
アルコール性肝炎、慢性肝炎
- ・ 高度の上昇 (500 KU 以上) …劇症肝炎、急性肝炎、うっ血肝

異常値の場合は病歴、飲酒歴、服用薬、手術や輸血の経験、体重の変化などの再チェックと合わせて血液検査や組織検査などのデータを参考にして診断が進められます。